

# 会 議 録

平成22年6月14日調製

審議会等名	平成22年度 第1回 社会教育委員会議		
公開の別	全部公開		
開催日時	平成22年6月3日(木) 午後2時00分～3時55分		
開催場所	三条東公民館 多目的ホール2	傍聴者	1人
		報道機関	なし
出席者氏名	社会教育委員 桑原 理委員 安藤正之委員 阿部凉子委員		
	廣川邦夫委員 長田美智留委員 目黒徳一委員		
	山田宏高委員 本山昭格委員 阿久津文雄委員		
	杉野真司委員		
	三条市	宗村市民部長 金子生涯学習課長	
		蝶名林子育て支援課長補佐 捧中央公民館長	
		太向図書館長 羽賀諸橋轍次記念館長	
		弥久保青少年育成センター長 近藤生涯学習課課長補佐	
		小林生涯学習係長 長谷川主査 山田主事	
	(欠席者) 棚橋正明委員 目黒徳一委員 横山正美委員		
議 題	(1) 平成22年度生涯学習事業等の概要について		
	(2) 社会教育団体等の補助金について		
	(3) 社会教育委員の研修について		
	(4) 今後の文化活動の取組について		
	(5) その他		
発言内容等			
廣川議長	<開会のあいさつ>		
宗村部長	<市民部長あいさつ>		
廣川議長	では、次第に従い議題を進める。(1)「平成22年度生涯学習事業等の概要」について、事務局から説明願いたい。		
金子課長	生涯学習課の事業計画について、平成21年度第3回の会議において、既に詳しく説明しているため、重複しないよう、新しい事業等について説明する。		
	まず、重点目標の(2)現代的課題の取組として、「環境」「高齢期にお		

	<p>ける健康増進」「農業と食育」「すまいの安全・安心」に関する事業を展開していく。</p> <p>生涯学習事業としては、他部局との事業連携として、ライトダウンイベントを実施予定である。内容としてはキャンドル作りやキャンドルの明かりの中での合唱などを予定している。</p> <p>芸術文化事業としては、越後瞽女唄保存・啓発事業として7月に小林ハルさん生誕110年記念「木下晋が描いた小林ハル展」の実施、音楽公演、ジュニア文化振興事業、楽音祭、芸術鑑賞ツアー、子ども読書活動推進事業等を予定しており、音楽公演は公開レッスンの実施、ジュニア文化振興事業については、今年度は三条市音楽協会と打合せを行い実施していく、芸術鑑賞ツアーは回数を増やす予定であり、子ども読書活動推進事業については、子ども読書推進計画を新しく作成する年に当たり、現在準備を進めているところである。</p> <p>文化財事業としては、中心市街地歴史的建造物調査、文化財総合調査、信濃川火焰街道連携協議会加盟などを予定しており、文化財総合調査については、仏像の調査や農業土木遺産である「まぶ」の調査等を予定している。信濃川火焰街道連携協議会については、協議会に加盟し、他市と連携しながら観光・歴史・教育に役立つような事業を今後展開していく予定である。</p>
蝶名林課長補佐	<p>子育て支援課の事業について、資料に基づき説明する。</p> <p>家庭教育事業としては5つの事業を計画しており、今年度からの新規事業としては、市民窓口課と連携した出前講座を予定している。それぞれ保護者等が参加しやすい時期を選び開催することとする。</p> <p>放課後子ども教室推進事業については、現在8校で実施しており、今年度は新たに裏館小学校、保内小学校、月ヶ岡養護学校の3校で開催を予定している。</p>
弥久保センター長	<p>青少年育成センターの事業について、資料に基づき説明する。</p> <p>青少年健全育成活動については、青少年健全育成市民会議と一体となった計画となっており、青少年ふれあい学習、親子ふれあい広場、モーニングフェスティバル、青少年のためのコンサート等を予定しており、青少年のためのコンサートについては、アンコールが多くあったため、昨年同様奥華子さんを予定している。</p>
廣川議長	<p>ここまでで質疑等あれば発言を願いたい。</p>
阿部委員	<p>それぞれの説明の中で次代を担う子供に向けた気配りを感じた。その中でジュニア文化振興事業について、三条市音楽協会と打合せを行っているということであるが、今後他団体との打合せを行っていく予定はあるか。</p>
金子課長	<p>昨年度、三条市音楽協会より次世代育成のための事業がないかと相談が</p>

	あり、ジュニア文化振興事業の中で取り組む事とし、打合せを行っているところである。この他、文化団体協会から協力を頂き、子ども文化教室として、日本舞踊・能舞の育成教室、共催の形で打楽器の技術教室を実施している。なお、議題（４）で詳しく議論いただきたい。
長田委員	青少年育成センター事業中「子ども・若者支援体制の推進」について、今年度は実際に事業を展開していくのか。それとも昨年同様に体制整備や研修会等を実施していくのか。
弥久保センター長	今月東京で開催される中央企画委員会に参加したのちに今年度の計画を作成したい。
阿部委員	子育て支援課の放課後子ども教室推進事業について、当初は全市的に実施するとしていたが、数年経っても開設に至らない理由は何か。また、平成22年度に開設予定の3校について、今後どのように進めていくのか。
蝶名林課長補佐	学校の空き教室を利用し児童クラブと連携しながら実施しており、学校から離れた児童館を持つ学校については、連携面での問題や、空き教室がないなど問題が山積しており、直ぐに開設をすることができない状況である。また、今年度、開設を予定している3校については、地区ごとに運営委員を募り、地元との協議を行い開設に向けて動いている。
阿部委員	地元の者でもなかなか話が入ってこず、動きが見えない。違うアプローチもあると思うので、ご努力いただきたい。
廣川議長	それでは、引き続き事務局より説明願いたい。
捧館長	公民館事業について、資料に基づき特徴的な事業について説明する。 重点目標として、生涯学習課の事業説明でもあったように、各部局と連携しながら事業に取り組んでいきたい。 中央公民館について、2年目に入る「みんなで農業」体験講座を農林課、生涯学習課、都市計画課と連携しながら休耕田を利用した体験や、農業の現状を学ぶ回を設けるなど、現在事業を実施している。文化講座は例年どおり文化団体協会から協力いただきながら実施していく。 嵐南公民館について、「やさしいフラダンス」、「いきいきウォーキング」など、近年健康志向が高く人気の講座となっている。「フレッシュ講座」として、三条市で唯一障がい者を対象とした事業を予定している。 三条東公民館について、市民総合大学、入門講座や施設の特性を活かし環境に配慮した事業の実施や夜間のイベントを予定している。 井栗公民館について、健康管理に役立つ講座として「からだいきいき講座」などを予定している。また、井栗地区は文化活動が盛んで文集「伊久礼」第56号の発行を予定している。 本成寺公民館について、地域の資源を活かした異年齢の子どもたちを対

	<p>象とした「ピノキオくらぶ」の実施を予定している。</p> <p>大崎公民館について、三条市でも最大級の体育レクリエーション大会を地域のコミュニティと連携して実施を予定している。</p> <p>大島公民館について、昨年度江戸しぐさ等からマナーを学ぶ講座を実施し好評であったため、今年度は「ときめき成人講座」として特色ある講座を予定している。また、「男性応援講座」として中高年の男性を対象とした講座を計画したが、募集のタイミングが合わず日程の見直しを行っている。</p> <p>栄公民館について、栄地区の小学校5年生を対象とし「ジュニアリーダー研修会」を予定している。なお、小中一貫教育推進との絡みで、来年度からはスタイルを変更して実施していきたい。</p> <p>下田公民館について、下田文化祭として旧下田地区を挙げての発表会を予定している。</p>
太向館長	<p>図書館・歴史民俗産業資料館事業について、資料に基づき重点事業について説明する。</p> <p>図書館事業について、図書館・歴史民俗産業資料館を使った調べ学習や「三条の記憶」事業、講演会などを予定している。</p> <p>調べ学習については、三条市独自のコンクールの実施は現状では難しいが全国で実施されている様々な調べ学習コンクールへの参加呼びかけを行っていききたい。「三条の記憶」事業については、図書館及び資料館でアンケートにより三条の歴史や記憶を収集しており、図書館において1つの冊子にまとめていききたい。また、パネルの形にして資料館への展示等も予定している。</p> <p>講演会については、平成22年が国民読書年であることと、三条市立図書館が開館90周年でもあることから、秋の読書週間に合わせ著名な作家を招いての講演会を予定している。</p> <p>歴史民俗産業資料館事業について、常設展示のほかに特別展・企画展や、各種講座を予定している。特別展・企画展については、今年度は7月から8月にかけて夏休み子ども向け特別展として、子どもの頃から三条の文化・歴史に触れるきっかけとなるものを企画している。2月には「三条の記憶」事業で集まったものの展示を予定している。講座については、三条歴史講座を予定している。</p>
羽賀館長	<p>諸橋轍次記念館事業について、資料に基づき説明する。</p> <p>諸橋轍次博士の顕彰をするにあたっては、漢字文化の普及が必要であり、記念館では、漢字文化の振興に寄与する事業として、漢字文化振興講演会や、漢詩大会、漢字入門講座を予定している。この他、6月4日が博士の誕生日であることから、今年度は6月4日から6日までを博士の日として</p>

	イベント実施や、諸橋博士愛蔵名品展などを予定している。
廣川議長	質疑等あれば発言を願いたい。
山田委員	公民館事業の通学合宿について、旧下田村で実施していた事業が全市に広がったものであるが、昨年度の通学合宿ではグリーンスポーツセンターを会場として行われ、子どもを厨房に入れない事としたようだが、三条市の食育は全国的に取り上げられるなど、食育推進に逆行するような形となっているのでないか。この事業に協力しているボランティアの方々も突然の変化に戸惑っていた。なぜそのような形をとったのか、説明いただきたい。
捧館長	理由としては、学校から授業中居眠りをする児童が出ているという指摘を受け、炊事洗濯のトレーニングを家庭で受けていない今の子どもにとっては、いきなり炊事洗濯を実施することは大きなストレスになっているのではとの考えから、厨房に入ってから食事作りは金曜日に実施し、それ以外は普段のお手伝い程度のものでした。昨年度事業終了後の反省会でも同じような話が出ており、今年度の実施方法については、担当と協議していきたい。また、会場については、交通の便やインフルエンザなどの感染症予防を考え、部屋が分かれているグリーンスポーツセンターが適しているため、今年度も会場はグリーンスポーツセンターでの実施を予定している。
山田委員	ボランティアの方たちにもしっかりと説明をしていただきたい。
廣川議長	それでは（２）「社会教育団体等の補助金」について、事務局より説明を願いたい。
小林係長	<資料に基づき説明>
廣川議長	それでは（３）「社会教育委員の研修」について、事務局より説明を願いたい。
小林係長	<資料に基づき説明>
廣川議長	それでは（４）「今後の文化活動の取組」について、事務局より説明を願いたい。
金子課長	資料に基づき説明したい。 芸術・文化の振興については、三条市の総合計画に登載されており、平成２２年度の主要施策として、文化活動の促進・支援、文化に親しむ環境づくりの推進の二つがあり、個別の事業については、美術展の開催やジュニア文化振興事業、芸術鑑賞ツアー、公民館文化祭等を予定している。 今後の三条市の文化活動の取組について、資料にある「今後の重点的な取組（案）」として、まとめた。その中でも、次代を担う青少年の育成に資する文化団体等の育成事業の一つであるジュニア文化振興事業について今後の方向性や、個別の施策でどのような事が考えられるか、ご意見いただきたい。

廣川議長	このことについて、様々な観点や立場から、ご意見いただきたい。
阿部委員	<p>ジュニア文化振興事業の実施については、協力団体がいなければ実施が難しいと感じる。平成22年度は音楽協会と連携する形で音楽関係の事業を計画しているという説明であるが、音楽だけの実施に固執せず、今年度中にでも美術協会や文化団体協会へも声掛けや話し合いをする場を設けていただきたい。また、一教室だけでは取り組む事が困難な俳句甲子園や書道甲子園等への取組、子どもが各種教室に通う際の補助金などの実施としてはどうか。なお、10年ほど継続している子ども文化教室についても、市から協力依頼を受け文化団体協会が協力する形で実施しており、これについても文化団体協会へ新たに協力依頼や相談をしていただきたい。</p> <p>次に指導者の育成について、指導者の多くがボランティアであり、ジュニア育成と指導者のライフワークが合致するような行政からのサポートを考えていただきたい。</p>
山田委員	<p>感性豊かな作品を作るためには技術だけでなく、情愛の育成が必要であり、子どもたちを自然や芸術・文化に触れる機会の提供をしてはどうか。たとえば、下田地区にある「まぶ」などは資料で見るとはなく、実物を目で見て感じる事で、建物の中での学習では学ぶことの出来ないものを得る事ができると思う。</p>
本山委員	文化会館の建設計画はないのか。施設の充実も必要ではないか。
金子課長	文化会館建設については、現状の三条市の経営の中では、無理がある事から、文化会館建設基金の趣旨を変えさせてもらい、文化振興基金としていところである。新しい総合計画ではどうなるかわからないが、現在の新市建設計画の中では、三条東公民館の建設をもって生涯学習関連施設の建設は一段落したところであり、現状施設を利用した中での文化活動への取組について、その中でも、とりわけ次世代育成についてご議論いただきたい。
宗村部長	文化会館の建設について、市民の皆様からも希望が多くあるが、土地代や建設資金、運営資金を考えると、現状の三条市の経営の中では建設する事は難しく、このことについてはご理解いただきたい。
廣川議長	ソフト面でのご意見をいただきたい。
阿部委員	現在、学校教育では芸術関係の先生が減っており、学校教育と社会教育が共に歩んでいく必要がある。文化振興基金については有効的な活用を望む。
長田委員	文化的なコンサートや鑑賞会、展示会等に触れる機会は子どもの家庭環境に応じて格差がある。こうした機会の不平等を解消するために、文化振興基金から学校のPTA行事や文化行事への助成や、学校と連携した学校区単位での巡回芸術鑑賞会などを実施してはどうか。

廣川議長	それでは（５）「その他」について、事務局より説明願いたい。
金子課長	平成２２年度公民館業務改善について、資料に基づき報告する。 3月の社会教育委員会議の中で生涯学習課の業務改善については報告しているが、平成２２年度は生涯学習課文化振興係と公民館の業務及び人員について、引き続きその在り方を含めて検討していく。また、公民館の運営について工数調査を実施し、平成２３年度の職員配置や管理形態について検討していく予定である。
廣川議長	全体を通して質疑等あれば発言願いたい。 無いようなので、以上をもって第１回社会教育委員会議を終了する。長時間にわたる熱心な議論に感謝する。

15：55閉会